

イエスについての さらなる証



私は地から上げられるとき、すべての人を自分のもとに引き寄せよう（ヨハネ12：32）。

2024.11.09 たにぐち

ヨハネによる福音書は、

1. イエスが神であることを明確に示している (1:1)。
2. イエスが行った数多くの奇跡 (=しるし) に焦点を当てている。
3. 新しい命と復活の重要性を強調している (3:3)。
4. 終末と復活の希望を強調し (11:25)、信仰者に永遠の命と復活の希望を与える。
5. イエスの愛の教えを強調している (13:34、35、15:13)
6. イエスの昇天後に聖霊が信者たちに与えられることを約束している (14:26)。
7. 「わたしは〜である」宣言が登場する。



ヨハネによる福音書	6:41 ユダヤ人たちは、イエスが「わたしは天から降って来たパンである」と言われたので、イエスのことではつばやき始め、
ヨハネによる福音書	8:12 イエスは再び言われた。「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」
ヨハネによる福音書	11:25 イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。
ヨハネによる福音書	14:6 イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」
ヨハネによる福音書	15:1 「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。
ヨハネの黙示録	1:8 神である主、今おられ、かつておられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」

←剪定

信徒は弟子に！ 日々キリストとの個人的な生きた関係を持ち、人々をキリストの弟子として積極的に招くことを喜びとする。



聖書Navi Active 3931

章:節 聖句 [検索対象総数 : 3 / 聖句等の総数 33250 <走り抜こう>1個 <時が迫っている>2個] (新共同訳)
[検索語彙 : 走り抜こう・時が迫っている]

12:1 こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびただしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、

1:3 この預言の言葉を朗読する人と、これを聞いて、中に記されたことを守る人たちは幸いである。時が迫っているからである。

22:10 また、わたしにこう言った。「この書物の預言の言葉を、秘密にしておいてはいけない。時が迫っているからである。」

ヘブライ人への手紙12 : 2

信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。このイエスは、御自身の前にある喜びを捨て、恥をいとわないうで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右にお座りになったのです。
at the **right hand** of the throne of God.

テモテへの手紙二3:16

聖書はすべて**神の霊**の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。

黙示(啓示)録1:1 ἀποκάλυψις

イエス・キリストの黙示。この黙示は、**すぐにも起こるはずのことを、①神がその【僕ドウロスたちに示す】ため②キリストにお与えになり、そして、キリストがその③天使を送って④僕ヨハネにお伝えになったものである。**

申命記4:13~14

主は契約を告げ示し、あなたたちが行うべきことを命じられた。それが**十戒**である。

主はそれを二枚の石の板に書き記された。14主はそのとき、あなたたちが渡って行って得ようとしている土地で行うべき**掟と法**をあなたたちに教えるようにわたしに命じられた。

申命記9:10 主は、**神の指で記された二枚の石の板**をわたしにお授けになった。

- ① イエス・キリストはこの世で人間に対して何をなさろうとされたのですか
- ② イエス・キリストは、新約聖書によると、次のような目的を持ってこの世に生まれ、人々に対して多くのことを行われました。
- ① **神の愛を示す**：イエスは神の愛を人々に示すためにこの世に生まれました。ヨハネの福音書3章16節には、「神はそのひとり子を賜ったほどに世を愛された」とあります。
 - ② **罪の赦しをもたらず**：イエスは**十字架**にかかることで、人類の罪の赦しをもたらしました。これはキリスト教の中心的な教義であり、イエスの贖いの死によって人々が神との関係を回復できるとされています。
 - ③ **救いを提供する**：イエスは信じる者に**永遠の命**を提供するために生まれました。彼を信じることによって、誰でも救われるというメッセージを伝えました。
 - ④ **神の国を宣べ伝える**：イエスは**神の国**について教え、神の国が近づいていることを告げました。彼の教えやたとえ話は、多くの場合、神の国に関するものでした。
 - ⑤ **奇跡を行う**：イエスは数多くの奇跡を行い、病人を癒し、死者を蘇らせ、自然現象を制御するなどの行いを通じて、神の力を示しました。
 - ⑥ **弟子を育てる**：イエスは12人の弟子を選び、彼らを教育し、訓練しました。彼らは後に初期のキリスト教の拡大に重要な役割を果たしました。
 - ⑦ **倫理と愛の教えを広める**：イエスは愛、許し(or赦し)、謙虚さ、慈善などの倫理的教えを広めました。彼の「黄金律」(他人にしてもらいたいことを、あなたも他人にしなさい)は、広く知られています。これらの行いや教えを通じて、イエス・キリストは人々に神の意志を示し、神との和解と永遠の命の道を開かれました。



永遠の命と永遠の死

イエスを信じる人は、**永遠の命**を得るのです。イエスを受け入れない人は、神の怒りの下にとどまります。神は世を愛し、世をあがなう(贖う)ために御子を遣わされました。(神が)差し出された贈り物を拒む者は、自らの罪に対する罰(永遠の死)を受けることになります。

イエスは、政治的、軍事的指導者としてではなく、この世(人類)のいけにえ(生贄)として、ご自分をささげるために来られた。それが彼(そして神)の(究極の)目的でした(その後、すべてのことが成し遂げられると最終的な王国が到来します)。

救いは、イエスの対する信仰と従順のうちに心をゆだねる(委ねる)ことによるのみ、神から与えられるものです。

ヨハネによる福音書6:68~69

シモン・ペトロが答えた。「主よ、わたしたちはだれのところへ行きましょうか。あなたは**永遠の命**の言葉を持っておられます。あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています。」

・・・神は、神の民に対して父としての関係に立っておられる。そして、わたしたちに、父としての神に忠実に奉仕することを要求しておられる。

ここでキリストの生涯を考えてみよう。キリストは、人類の頭として立つとともに、父なる神に奉仕なさった。こうして、すべての人の子らのとるべき道を示す模範となられた。神は、キリストのような服従を今日の人々に求められておられる。キリストは父なる神に、愛と喜びと自由をもってお仕えになった。

「わが神よ、わたしはみところを行うことを喜びます。あなたのおきてはわたしの心のうちにあります」と宣言された(詩篇40:8)。キリストは、なすべき働きを完成するためには、どんな犠牲も大き過ぎるとは考えず、どんな苦勞もつら過ぎるとはお思いにならなかつた。12才の時、彼は「わたしが自分の父の業をつとめている(詳訳聖書)ことを、ご存じなかつたのですか」と言われた(KJB:And he said unto them, How is it that ye sought me? wist ye not that I must be about my Father's business?)(ルカ2:49)。彼はすでに(神からの)召しを聞き、働きに着手しておられたのであつた。「わたしの食物というのは、わたしをつかわされたかたのみところを行い、そのみわざをなし遂げることである」と、彼は言われた(ヨハネ4:34)・・・

希望への光 P.1295 キリストの実物教訓 第22章 (豊かな人生の秘訣 第16章) 言葉よりは行動

神の奥義 The Mystery of God

- ➡「神の奥義」とは、この地上で「人性」と全く一点の罪もない「神性」が完全に結合して一体(=完全なキリストの品性)となる、すなわち、神と神の民との間の霊的な婚姻を示している。
- ➡婚姻とは、神さまの愛の力により罪や悪から離れてイエスさまに結びつき、やさしく聖なる結合を形成することである。
- ➡黙示録10:7にある第七のラツパが鳴り始めた時は、1844年の秋で、至聖所で婚姻が始まった時である。
- ➡現在も第七のラツパの音は鳴り続けていて、天における至聖所と地上にいる神の民の両方において婚姻が行なわれている。
- ➡「人々を導き指導するという壮大で厳粛なキリストの働き」により、「神の奥義」の完全な成就に向けて、この地上における人性と神性の結合が現在も進行している。
- ➡恩恵期間が閉じられ婚姻が終わる時、人性と神性の一体化が完成し、イエス・キリストのご品性が神の民のうちに完全に形成される。
- ➡生きたまま再臨を迎える神の民は、聖霊の力によってもろもろの罪に勝利し、完全なキリストの品性をおとして神性と人性の結合という奥義をこの地上において啓示する。
- ★神の奥義=①罪に陥った人間を救う、「救いの計画」、②キリストの初臨、③神性と人性の結合
- ➡完全なキリストの品性が、墮落した人間の内に再現された時、救いの計画が完成される。

聖書研究ミシガン 真夜中の叫び 第4部『見張り人』P.24～26